



茂小中だより

令和5年12月22日発行

【重点教育目標】 自ら考え、仲間とともに課題を解決する児童・生徒

お天道様が見ている

(お天道様=「おてんとさま」または「おてんとさま」=太陽)

校長 星野 みさお

今年もいよいよ残すところ10日となり、本校でも本日、2学期の終業式を行いました。

今年度5月にコロナが5類に移行しましたが、なかなか収束とまではいかず、またインフルエンザが早い時期から猛威を振るい、継続して感染症対策に気を遣う日々でもありました。

しかし、運動会をはじめ、様々な行事がコロナ前と同様に、あるいは新たな形で行うことができ、保護者の皆様や地域の皆様とも共有できましたこと、心より嬉しく思っております。

さて、終業式では一昨年と同じく「お天道様が見ている」という話をしました。

私が子どもの頃には「誰も見ていなくても、お天道様が見ているよ」という言葉をよく耳にしました。誰も見ていないから、ちょっとズルをしたり、これぐらいならいいやといけないことをしたり、という経験はありませんか。こんな時、「お天道様が見ているから悪いことをしてはいけませんよ」という教えです。

一方、この言葉は善いことにも使われます。善い行いや地道な努力は、誰も見ていなくてもお天道様が見てくれている、ということです。

このように考えると、「お天道様」は自分自

身とも言い換えることができます。誰も見ていなくても、ちょっと手を抜いたことも、人知れず努力をしたことも自分は知っています。そして、結果は必ず自分に返ってきます。ただ、地道な努力が成果となって返ってくるまでには、時間がかかることもあります。しかし、努力したことは、必ず成果として自分に返ってきます。

今学期も、茂辺地の子どもたちは本当によく頑張りました。できなかったことができるようになった人、各種検定に挑戦した人。まだ成果が出ていないという人も大丈夫です。その努力はきっとお天道様が見ています

誰が見ていなくても、自分が自分の行いを正しく見つめ、目標に向かって努力する人になって欲しいと心より願っています。

地域の皆様・保護者の皆様へ

1年の中で1番長い2学期が終了しました。今学期も本校の教育活動に、ご支援とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

さて、明日から25日間の冬休みとなります。クリスマスにお正月、子どもたちにとっては楽しいことの多い長期のお休みでもあります。中学3年生にとっては、大切な日々でもあります。

冬休みの25日間、子どもたちが心も体も元気で過ごせますよう、「お天道様」のように、温かく見守っていただければ幸いです。

年が明け、2024年が皆様にとって、穏やかに健やかな1年となりますよう、ご祈念いたします。よいお年をお迎え下さい。

1月の行事予定



- 12/29 ~ 1/3 学校閉庁日
- 1日(月) 元日
- 5日(金) 北斗市新年交礼会
- 6日(土) 北斗市23歳の大同窓会
- 7日(日) 二十歳を祝う会
- 8日(月) 成人の日
- 15日(月) 冬休みサポート学習 10:00~11:15
- 16日(火) 冬休みサポート学習 10:00~11:15
- 17日(水) 始業式
街頭指導
午前日課・給食なし
- 18日(木) (中)3年後期期末テスト①
全校4時間日課・給食あり
- 19日(金) (中)3年後期期末テスト②
放課後：英語検定試験
- 23日(火) (小)スキー学習(小学校給食なし)
- 24日(水) 職員会議
公立高校出願状況発表 10:00web
- 26日(金) 特別支援学校高等部選考検査日
- 27日(土) 算数・数学検定 9:30 ~
- 28日(日) 雪遊童 10:00
- 30日(火) 書き初め(小3~中3)



~保護者の皆さまへ~

万が一、事故・事件が発生した場合は、電話(長期休業中は8:05 ~ 16:35)または登録していただいているアドレスから学校にご連絡ください。茂辺地小中学校 電話75-2020。

ただし、学校閉庁日【12月29日~1月3日】に、お子様の事故・事件など緊急の連絡がありましたら、北斗市役所に連絡をしてください(☎73-3111)。教育委員会を通じて、市役所から管理職に連絡が入ります。

市P連研究大会(講演会)に参加

12月2日(土)、北斗市PTA連合会研究大会が行われました。「子どもを支える大人の役割を考える～多様な背景を抱える子どもたちへの対話を通して～」と題した北翔大学教育文化学部心理カウンセリング学科の飯田昭人氏を講師に講演が行われました。少しですが、講演内容を紹介します。

【講演内容(抜粋)】

子どもを取り巻く環境が加速度的に変化している現在、子育ての在り方そのものも多様化し、未来を見通すことが困難な状況である。その中で、家庭や地域社会は健やかな子どもの成長のために何ができるのか。PTAは子どもたちの健やかな成長を促す環境を整え、また、子どもたちが夢と希望を抱き、明るい未来に向けて羽ばたける社会づくりを目指さなければなりません。今こそ、親と先生、地域が手をつなぎ、地域社会全体で子どもたちを包み込み、胸を張って社会の海原に飛び込んでいけるよう、今、何をすべきか、相互に確かめ合うことができればと考える。

①相談を受ける上で大切なこと 専門性と人間性が大切

- ・相談を受けるうえで大切なことは、理論や技術だけではなく、それを用いる「人間」の存在が大切なのだと思う。一人ひとりの相談を「新鮮に」そして「真剣に」受けることができるかが大切。
- 親の大変さを理解し続ける私たちの姿勢が問われている。
- 学校の先生が子どもたちを支えていることを忘れない。

②いじめについて

- ・いじめの認知(予防)も大切だが、より重要なのは深刻化させないこと。
- ・小学生には比較的「援助要請行動」を高めることが重要
- 「助けて」と言えること
- ・中学生には「援助要請行動」を高めることは必ずしも重要とは言えない。
- 「チクっただろ」と言われ、改善されないことも多い。この場合、教師と親で必ず解決するという覚悟と責任をもつ必要がある。

③不登校について

- ・R4年度の中学校の不登校(30日以上欠席)は、およそ6%(17人に1人)。また、別室登校も含めると8~9%になる。
- ・不登校は社会問題として取り組むことが必要である。

北海道学び推進月間標語

中学3年生の垣見直人さんが、今年度渡島教育局奨励賞を受賞しました。

「学びから 視野を広げて 未来へと」
北海道教育委員会は、子どもたちの「確かな学力」の向上を図る取組の一環として、平成21年度から、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と決めました。この月間においては、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進しています。



昼休みの体育館にて

12月8日の昼休み、小学生が大縄をしていたところに、5時間目の体育の授業で集まってきた中学生と一緒に参加するという場面がありました。

小学生と中学生が一緒になって楽しむ姿が見られるのは、茂辺地小中学校ならではの光景です。

